# 【教育改革・研究開発力の強化】

~公教育の再生・強化(教育無償化に向けた検討状況含む)~

~高等教育機関の機能強化など、国や地方の競争力・持続可能性を高めるための 教育改革・研究開発力の強化~

令和7年5月26日あべ臨時議員提出資料



# 1. 地方に対する投資の促進に向けた取組について

## 産学協働の産業界伴走型人材育成機能の強化

総理からのご指示を踏まえ、経済産業省と連携し、「産業人材教育のためのプラン」を策定

## (専門高校段階)

- 実践的な専門高校の運営モデルの開発・普及・定着。あわせて寮の整備を含む交流拠点の設立への 支援。専門性の高い実務家教員の指導による人材育成の推進。
- 産業人材育成のための広域教師等人材バンクの構築支援(地域の職業人材の育成を担う専門 高校において、教師人材の確保を図るため、産業界等からの人材派遣を促進。)

## (大学·高等専門学校(高専)段階)

- 産業界等と連携した企業オンサイト型での共同研究・寄附講座の実施、企業の研究所等を実習・ 実践の場として活用、クロスアポイントメント等により企業から大学等へ人材を送り出し、実務家教員と して研究指導等に従事。
- 成長分野への学部・学科の再編等による大学・高等専門学校の教育研究機能の強化や、大学や高専が地域の自治体や産業界と連携して行う人材育成機能の強化等に向けた取組の支援を通じ、我が国の産業を担う人材育成を推進。AIやサイバーセキュリティに関する学びを大学・高専において企業等と連携して推進。

#### (リカレント教育)

● 大学等が中心となり、地域や産業ニーズを踏まえたリカレント教育環境を構築。

### (アントレプレナーシップ教育)

● アントレプレナーシップ推進大使の派遣やアントレプレナーシップ教育プログラム・教育ガイドの開発等◆ を推進。

# 1. 地方に対する投資の促進に向けた取組について (続く)

#### 地方で活躍する人材の育成とそれを支える基盤の整備

- <mark>郷土に関する教育</mark>や地域で活躍する人材育成の観点を含めた**次期学習指導要領**の検討や<mark>探究学習</mark>の充実、**AI活用による英語での地域 の魅力発信**
- 高等教育全体の「規模」の適正化、「アクセス」の確保、「質」の向上を企図。
- 人事給与マネジメント改革等の実施と併せ、物価・人件費の上昇等も踏まえつつ、**運営費交付金、私学助成、施設整備費等の基盤的経費 を確保**。
- ◆ 大学病院の教育・研究・診療の質担保を図るとともに、総合的な診療能力を有する医師等、地域医療を担う人材の養成を推進。
- 既存の学問体系に捉われない研究テーマを後押しするため、人件費・物価の上昇等にも留意しつつ、**科研費等の競争的研究費を通じた研究**カの一層の強化に取り組むべく、支援の在り方を検討。国家戦略等に基づく重要分野(※)の研究開発を加速。※AI、量子、フュージョン、マテリア
  ル、次世代半導体、健康・医療、宇宙・航空、海洋・極域、地震・火山・防災、原子力等
- 博士後期課程学生、若手をはじめとする優れた**研究者・研究開発マネジメント人材・技術者への支援**等を進めるとともに、アカデミアと産業界 とのマッチング等を促進する新たな枠組みのもとで産学共同研究を推進し、産学で活躍する科学技術人材層を充実・強化。
- 地域における大学発スタートアップの創出や創業後間もない成長の支援や、産学官共創拠点の形成を進め、地方の研究開発力の強化を 促進。

# 我が国への投資促進に資する研究力強化と国際頭脳循環の推進

- 先端研究設備・機器の整備・共用や技術専門人材を確保し、地元産業界等とも連携して共用拠点・人材をネットワーク化するとともに、先端機器等の開発、先端研究設備の大規模集積・自動/自律化・遠隔化、AI for Scienceや情報基盤の強化等により、科学研究を革新。
- 諸外国との戦略的な先端共同研究を加速しつつ、海外の高度人材を含む優れた研究者が世界から日本に集う国際的な頭脳循環を確立。
- 大型研究施設等(SPring-8、NanoTerasu、J-PARC、富岳、研究船等)を高度化。

### 楽しい地方の実現に向けた文化芸術・スポーツの振興

- インバウンド促進の核ともなる**多様な文化資源の高付加価値化、その前提となる文化財の強靱化、「NEXT日本博」(仮称)の創設等を** 実施。また、多様な文化芸術活動によるコミュニティの維持・強化や地域活性化のため、文化施設の機能強化、鑑賞・体験機会の充実、方言 の保存・継承、文字・活字文化の振興等を推進。
- コンテンツ産業の海外市場規模を2033年までに20兆円とする目標達成に向け、圧倒的に不足する専門人材の育成・確保のため、「クリエイター支援基金」を活用し、産学連携により技術継承や新技術の習得を支援。
- スポーツコンプレックス、スポーツツーリズム、スポーツ大会開催等の官民が連携した地域スポーツ資源の活用による地方創生への取組について、 **伴走支援**、ハード・ソフト・インフラの一体的な支援に向けた**省庁連携促進、スポーツを活用したまちづくり**等に向けた取組を推進

# 2. 公教育の再生・強化(教育無償化に向けた検討状況含む)

# 学校教育の充実・発展等を通じた公教育の再生

- 教師を取り巻く環境整備(働き方改革の加速、処遇改善、指導・運営体制の充実、各地での人材確保推進、デジタルも活用した育成支援、部活動の地域展開等)
- GIGAスクール構想の更なる推進、データ利活用、COCOLOプランに基づく不登校、いじめ対策、 安心して学べる魅力ある学校づくり
- **コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進**、地域イノベーションを担うグローカル人材の育成(日本語教育の充実含む)
- 新時代の学びを実現する基盤となる**学校施設の老朽化対策と防災機能強化**の一体的な充実

#### いわゆる高校無償化等

● いわゆる高校無償化等(低中所得層への高校生等奨学給付金の拡充や専門高校を含めた公 立高校などへの支援の拡充を含む)の具体化については、三党合意(令和7年2月25日)及 びその後の三党における検討状況等を踏まえて対応する。